

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立荘山田小学校
(片山中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	—	—
令和5年度	+4.8	+5.5
令和4年度	-2.6	-5.2

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 72 % 全国 67.2 % 県 69 %</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 言葉の特徴や使い方 情報の扱い方</p>	<p>重点課題</p> <p>◎基礎的な学力（漢字・言葉の使い方）を問う問題を間違っている児童の割合が県平均に比べて高い。（設問1三 平均正答率 44.3%・設問3三 平均正答率 60.8%）【言葉の特徴や使い方】 ◇自分の考えを書くことに課題がある。（設問1二 平均正答率 35.4%）【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎全校で毎週取り組んでいる帯タイム学習において、言葉に関する問題に取り組む回数を増やし、答え合わせの時間を確保し、基礎的な学力の定着を図る。 ◇自分の考えの根拠を明確にして書く指導を行う。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力 設問1三 設問3三（第6学年,12月）目標90%以上（第5学年,2月）目標80%以上 ◎全国学力 設問1三 設問3三類似問題（第4学年,2月）目標70%以上 ◎学期末テスト（知識・技能）目標75%以上 ◇単元末テスト活用問題 目標70%以上</p>
<p>算数</p> <p>本校 68 % 全国 62.5 % 県 64 %</p> <p>数と計算 図形 データの活用 変化と関係</p>	<p>重点課題</p> <p>◎◇高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大きさを判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述すること。（設問2（4）平均正答率 11.4%）【図形】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎図形の学習において、条件に合う必要な情報のみを選び出せるように整理して解く文章問題を用意し、学習の内容の定着を図る。 ◎数値が示されていない場合、条件に合う必要な情報かどうかを集団解決の「学び合い」場面で吟味し、明確にしていく経験を意図的に仕組み、積ませる。 ◇具体物を制作したり、提示したりすることを増やし視覚的に理解を促すとともに、その学習がそれ以降の学年での学習にどのようにつながっていくかを明確にした授業づくりをしていく。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力 設問2（4）（第6学年 12月）目標70%以上、（第5学年 2月）目標60%以上 ◎◇全国学力 設問2（4）類似問題（第4学年 2月）目標40%以上 ◎「図形」単元テスト（思考・判断・表現）目標75%以上</p>

【来年度に向けて】